

日本小児麻酔学会第28回大会 スイーツセミナー1



日時

2023年10月7日（土） 15:10～16:00

会場

ザ・グランユアーズフクイ 第1会場（天山の間1・2）
〒910-0005 福井県福井市大手3丁目12-20



座長 **青山 和由** 先生

The Hospital for Sick Children, University of Toronto
Associate Professor

小児周術期管理におけるPONV対策の重要性



演者 **小嶋 大樹** 先生

あいち小児保健医療総合センター 麻酔科
医長

共催 日本小児麻酔学会第28回大会／丸石製薬株式会社

日本小児麻酔学会第28回大会 スイーツセミナー1



小児周術期管理におけるPONV対策の重要性

術後悪心嘔吐（Post-Operative Nausea and Vomiting: PONV）は、私たち小児麻酔科医を悩ませる周術期合併症である。PONVは、術後回復室での滞在時間延長や入院期間延長につながり医療費を増加させる。このような背景から、治療よりも予防に重点をおいたPONV対策が重要である。

PONVのリスク因子は、患者要因、手術麻酔要因、術後鎮痛要因に分けられる。小児では、年齢、術式、手術時間に関して成人のリスク因子と異なる点がある。小児麻酔科医は、術前診察の段階で適切なPONVリスク評価を実施し、最適なPONV対策を計画する必要がある。

日本でもオンダンセトロンの適応追加が2022年に行われ、PONV対策薬として周術期における使用が可能となった。これは、本邦におけるPONV対策にとって大きな転換点となる出来事である。本講演では、まず、PONVに関する最新のエビデンスを概説する。次に、斜視手術における麻酔方法の変遷とPONV発症率の変化、そしてオンダンセロン導入による変化等について自施設の解析データを提示し、現行ガイドラインの問題点を指摘する。



小嶋 大樹 先生

あいち小児保健医療総合センター 麻酔科 医長